



令和2年12月22日（火曜日）午前9時から開催しました第4回委員会では、新総合体育館整備基本構想素案の確認として、施設の機能・規模、整備手法、スケジュール、事業を実施するうえでの課題について説明し、委員から意見を伺いました。

●新総合体育館の機能・規模について

施設規模（延床面積）に応じてA～Cの3つの案を設定し、対応可能な競技、確保可能なコートの面数、観客席数やコスト等を評価しました。以下の意見を踏まえ、当委員会としては、**約12,000～15,000㎡程度**の施設規模が適しているとの結論になりました。

- ✓ プレイヤーのことだけでなく、スポーツを「みる人」や「ささえる人」のことも考えたい。
- ✓ 子どもたちにとってあこがれの選手が間近に見られると良い。
- ✓ プロリーグ等を誘致して人を呼び込みたい。観客席数からB案が良い。C案では小さい。
- ✓ A案は世界レベルの大会が開催可能な規模だが、費用面が高い。
- ✓ 防災拠点として、施設だけでなく駐車場も含めて十分な面積が必要である。
- ✓ 現総合体育館よりコート数を多く確保できると良い。

	A案:約19,000㎡ ～20,000㎡程度	B案:約12,000㎡ ～13,000㎡程度	C案:約9,000㎡ ～10,000㎡程度
メインアリーナ	(40m×100m) ・バスケットボール:4面	(40m×75m) ・バスケットボール:3面	(40m×50m) ・バスケットボール:2面
サブアリーナ	(40m×50m) ・バスケットボール:2面	(30m×44m) ・バスケットボール:1面	(25m×38m) ・バスケットボール:1面
武道場	・柔道場:2面、 剣道場:2面	・柔道場:2面	・柔道場:2面
観覧席(固定)	・メイン: 約1,600～1,760席 ・サブ:約800～880席	・メイン: 約1,200～1,440席 ・サブ:約530～560席	・メイン: 約800～1,140席 ・サブ:約180～380席
観覧席(臨時)※	・メイン:約3,020席 ・サブ:約1,260席	・メイン:約2,140席 ・サブ:約1,080席	・メイン:約1,260席 ・サブ:-席
概算工事費	約112億円～ 118億円程度	約68億円～ 73億7千万円程度	約45億7千万円～ 50億8千万円程度
概算維持管理費	約1億6千万～ 1億7千万円程度	約1億円～ 1億1千万円程度	約8千万円～ 9千万円程度

※アリーナ中央にバスケットボールコート1面をとり、周囲に仮設の椅子を設置した場合

●事業手法・事業スケジュールについて

事業手法（発注の方法）は、従来方式やPFI方式など数種類あり、方式によって設計時期がR4年度～R7年度、建設時期がR6年度～R8年度、供用開始がR8年度～R9年度となり、スケジュールに差異が生じます。以下の意見を踏まえ、当委員会としては、現時点では従来方式を基本として、今後、民間活力の活用についても検討していくとの結論になりました。

- ✓ PFI方式とした場合、色々な民間事業者が手を挙げてくれるのかが心配である。
- ✓ 設計や建設について、ノウハウを知っている人にやってもらった方が良い。
- ✓ 経験のある従来方式が良いとは思いますが、運営面等の課題もあり、現状これがベターであるという方式はない。

●事業実施の課題について

来年度の基本計画において検討しなければならない以下の課題が挙げられました。

- 敷地の選定
- 施設計画・運営に係る検討（施設構成の再検討、床面積の設定、費用削減と収入増の工夫等）
- 駐車場のあり方
- 事業手法の検討（民間ノウハウの活用）
- 財源確保（補助金など）
- まちづくりの視点（体育館の外構に公園の整備をする等）

■お問い合わせ先

各務原市役所
教育委員会事務局 教育施設整備推進室
TEL：058-383-7302（直通）
FAX：058-389-0218
E-mail：kyseibi@city.kakamigahara.gifu.jp



委員会の様子やかわら版のバックナンバーについては、市ウェブサイト（左記QRコード）で掲載しています。また、委員会は公開していますので、傍聴を希望される方は会議の開始10分前までにお越しください。（※傍聴希望者が10名を超える場合は抽選）

